

記者発表資料
平成27年6月12日
遠賀川河川事務所
直方市

第17回(2015年)日本水大賞 国土交通大臣賞受賞について

この度、これまでの河川環境教育活動や行政と協働した川づくりなどが評価され、「直方川づくり交流会」が第17回(2015年)日本水大賞【国土交通大臣賞】の受賞が決定しました。

■日本水大賞とは

【国土交通省記者発表資料より抜粋 (<http://www.mlit.go.jp/common/001090100.pdf>)】

日本水大賞は、安全な水、きれいな水、おいしい水にあふれる21世紀の日本と地球を目指し、水循環の健全化に貢献するさまざまな活動を対象に、社会的貢献度が高い、水防災、水資源、水環境等の分野における活動の中から、特に優れたものを表彰し、広く国民に発信することを目的として、日本水大賞委員会が平成10年度から毎年行っているものです。

日本水大賞委員会は、名誉総裁として秋篠宮殿下に御就任を賜り、毛利衛 日本科学未来館長を委員長とし学識経験者等により構成されています。(受賞理由は別紙のとおり)

「直方川づくり交流会」は平成8年6月に発足し、発足当初から「川づくりは人づくり」をスローガンに、市民にとって古来より「いのちの川」として重要な役割を果たしてきた遠賀川を「もっと市民に親しまれ、この大事な川をどんな姿で子孫に残すか」を考え、自ら国内外の川への現地勉強なども行い、川への理解を深め「遠賀川 夢プラン」の作成や行政と協働した川づくりを実践して参りました。また、発足当初から子供から大人までの「河川環境教育」等も実践し、次世代の育成にも力を注いで参りました。本活動を通じて育った「次世代」は各地の大学で川に関する活動の展開や中高生が世界水フォーラムに日本代表として参加し活躍するなど、次世代の活動は輝かしいものがあります。

今回の直方川づくり交流会の国土交通大臣賞の受賞にあたっては、これまで19年にも及ぶ「川づくりは人づくり」の実践、とりわけ「次世代の育成」が高く評価されたものと思っており、今後の益々の交流会の活躍を期待する次第です。

★おめでとうございます★

○表彰式及び受賞活動発表会

日程：平成27年7月7日(火)

会場：東京都江東区 「日本科学未来館」

参考：日本水大賞に関するHPアドレス【<http://www.japanriver.or.jp/taisyo/>】

問い合わせ先

国土交通省 遠賀川河川事務所

調査課長 古賀 満【TEL：0949-22-1830(内351)】

直方市

都市計画課長 本田 幸則【TEL：0949-25-2201】

■受賞理由について

【国土交通省記者発表資料より抜粋 (<http://www.mlit.go.jp/common/001090096.pdf>)】

活動の名称：「川づくりは人づくり」～市民による川づくり 遠賀川夢プラン～

○受賞理由

より市民に親しまれる遠賀川をどう創っていくのか、さらにはどのような姿で子孫に残していくか。この課題を市民と行政と一緒に考えようと、平成8年に交流会を発足し、200回を超える議論を経て「遠賀川夢プラン」を提案しました。この提案によって生まれ変わった水辺は、平成21年度の土木学会デザイン賞最優秀賞を受賞しました。また、こうした水辺を生かした「河川環境教育」活動を活発に展開しており、ここで学んだ子供達が、大学で水環境分野を専攻したり、過去3回の「世界子供水フォーラム」に日本代表として参加するなど、環境保護や水質問題等に取り組む次世代の育成にも成果を上げてきました。行政と協働した川づくりや「河川環境教育」を通じた人づくりなどの活動を19年間にわたり継続してきたことは、高く評価できるものであることから、国土交通大臣賞に相応しいと判断しました。

